



## ★インタビュー

この人に聞きたい！

### 第8回 県西支部 小島行政書士事務所 小島 信一・小島 通信 会員

聞き手・文：渡邊 利一 通信員



今回は、筑西市の郊外にある小島行政書士事務所を訪問させて頂きました。事務所に入るとスタッフのみなさんが明るい挨拶と笑顔で私を迎えてくれました。

このような明るい雰囲気事務所ならお客様も安心して仕事を依頼することが出来るのではないかと思います。

**通信員** 早速ですが、行政書士になったきっかけを教えてください。

**小島信一** 大学を卒業して東京の電機メーカー勤務から、父親の急逝でUターン、事業を継ぎながらも人生に苦悩していたとき行政書士の知り合いに会い、仕事の内容などを聞いたことがきっかけです。

**小島通信** 前職は金融機関で仕事をしていたのですが、当時、地域の人のために行政と向き合う父親の仕事が純粋にかっこいいなと思ったことがきっかけです。

**通信員** そのようなきっかけがあり、親子で運営する今の小島行政書士事務所になっているのですね。それでは開業時にはどのように頑張り、それが軌道に乗るまではどのぐらいの期間がありましたか。

**小島信一** まずは、知人・友人・不動産会社・建設会社・その他いろいろな所に出向いて行って、名刺を配っていました。最初は報酬とは関係ないことも、何でも相談に乗り事務所のPRに努めました。開業時から1人のスタッフと妻に手伝ってもらい、私は実務ばかりでなく営業活動にも時間をかけました。そうしているうちに5年ほど経つと、ある程度仕事が回るようになりました。

**通信員** とにかくここまでになるのには人一倍の努力をしたということですね。

それでは現在はどうの様な業務を取り扱っていますか。

**小島信一** 建設業や相続関係を取り扱っていますが、お客様の役に立つことならどんな相談にもと心がけています。

**小島通信** 私は農地法や都市計画法の許可、その他自動車リサイクル法などの許可手続きを多くこなしています。これらの仕事は千差万別で抱える問題が多種多様であるため、それを解決できるようにいつも勉強しています。

**通信員** それでは仕事を始めてから辛かったことはありますか。

**小島通信** 行政書士の試験と実務とが乖離していて、最初は非常に辛さを感じました。最近では得意分野もでき、難しい案件を解決できたときは、特に達成感もあり、その後飲むビールが美味しいですね（笑）

**小島信一** 私はこの仕事が天職だと思っていますので、どんなことも辛いと感じた時はありません（笑）。前向きに前向きに行動しています。

**通信員** 信一先生は、途中から筑西市議会議員としても活躍されていますが、仕事との両立は辛くはなかったですか。

**小島信一** 議会の開催中はもちろん、その1週間ほど前から多忙な日が続きますが、息子やスタッフ

がおりますので両立できています。それなので、辛さを感じたことはありません。

**通信員** それでは反対に嬉しかったことはありますか。

**小島信一・小島通信** それは二人とも共通していて、難しい案件を仕上げてお客様に感謝されながら報酬を頂けることです。これは行政書士として最高の喜びです。

**通信員** それでは仕事を離れて趣味の話をききたいです。

**小島通信** 子供と一緒にテレビゲームをすることです。時には子どもより夢中になってしまうこともあります（笑）ストレス解消にはこれが一番です。

**小島信一** 私は、地域を取材して自分で写真を撮り、それを自身のホームページやフェイスブックなどにアップして発信していくことが趣味になっていますね。

**通信員** 新入会員のみなさんに一言お願いします。

**小島通信** 行政書士の仕事は間口が広いので、そのなかで自分の得意な分野を作ることが大切だと思います。出来れば3つほどあればよいと思います。

**通信員** 最後になりますがこれからの抱負などを聞かせてください。

**小島通信** お客様の悩みや要望することを、他の事務所と連携してスムーズに進めて行きたいと思います。それから自分自身のスキルアップですね。これからも努力していきます。

**小島信一** 私は後進の育成を第一に考えています。私たちの次の世代の人に自分の知識や経験を伝え、それを通して行政書士全体の社会的地位の向上に努めていきたいと思っています。

ありがとうございました。インタビューが終わって感じたことは小島信一先生・小島通信先生の二人とも、人一倍努力をされていて行政書士と言う仕事に誇りを持っているということでした。小島信一先生は市議会議員として大活躍されている姿も、私は議会傍聴に行き実感しています。苦労を喜びに変えていく努力には頭が下がります。親子で同じ目標に向かって歩めることは最高の幸せだと思います。これからの益々の活躍を祈ります。

